

# 試験報告書

シンクフォート株式会社

(旧 テイストテクノロジー有限会社 官能評価事業部)

〒169-0075東京都新宿区高田馬場1-28-18

和光ビル3F

TEL 03-5272-8227/FAX 03-5272-8256

報告日 2005年 8月 8日

以下、報告いたします。

責任者	担当者

評価品目	ヘルスウォーター(M)
数量	5ヶ

## a) 試験目的

- ヘルスウォーター(陶器の器)使用による内容物の風味特性変化の有無を検証する。

## b) 試料を規定するための全情報

### (ア) 試料数

- オーカツ社ヘルスウォーター水飲み用ボウル(M)・・・5ヶ

### (イ) 内容物

- 水道水(蛇口を開栓し30秒間放出後に採取)

### (ウ) 対照試料・見本の有無

- 器の対照試料として「キャンドウ社販売の陶器製の器」を使用。
- 内容物の対照試料として「最優良蒸留水」(有)大和商店)を使用。

## c) 試験条件

### (ア) 評価者数および評価者のレベル

10名(Selected Assessor Class: ISO8586-1)

※選抜・訓練について

- テイストテクノロジー社「TT式標準味覚テスト」にて選抜されたパネル。
- 3点試験法のトレーニングを終了。

### (イ) 試験回数

3回(本テスト:同日1セッション×3日)

### (ウ) 試験環境

弊社官能評価室(室温25°C±2、空調あり、ブース、蛍光灯下)

### (エ) 試料の調製条件

・下記条件にて常温保存。

1. ヘルスウォーターボウルM(12時間)

2. 陶器製器(12時間)

3. ヘルスウォーターボウルM(1時間)

・テスト30分前に紙コップへ充填して待機。

・試料の呈示は、3桁のランダムコードを貼付(セッションごとに番号を変更)

### (オ) 試験手順

1. セッションの説明(大まかな流れ、諸注意、トイレ利用など)

2. 評価シートの配布

3. 教示

4. 試料の配布

試料提示

ABB,BAA,ABA,BAB,AAB,BBAの中からランダムに割り当て

## d) 結果及びその統計的解釈(検定方法及び検定結果)

## A. 分析手順および解析手法

## 差の検定

3点試験法有意差検定(JISZ9080付表4-検定表)

P値の計算は2項分布( $p=1/3$ )による。

## B. 分析ツール

ハードウェア

IBM ThinkPadX22(OS:WIN2000)

ソフトウェア

MS EXCEL+アドイン(エスミ社)

SPSS 13.0J

## C. 結果および考察

## 1. 結果および考察

## 【試料番号】

試料①: ヘルスウォーター(12h)

試料②: ヘルスウォーター(1hr)

試料③: 陶器(12hr)

## 【各比較対のP値】

	試料①	試料②	試料③
試料①		0.057	0.029*
試料②			0.136
試料③			

\* :  $p<0.05$ \*\* :  $p<0.01$ 

## 【検定結果】

試料①と試料③に有意差有り( $p<0.05$ )。試料②と試料③には差があるとはいえない( $P=0.136$ )

## 【考察】

器の違いのみによる比較で、同12時間保管したヘルスウォーターと陶器で有意差があった( $p<0.05$ )。このことからヘルスウォーター使用によって水道水の味に変化が生じたと考える。

保管時間の違いによる比較から、1時間のヘルスウォーター保管では12時間ほどの変化はなかった(試料②:試料③、 $p=0.136$ )。

## 2. 結論

1. ヘルスウォーター(器)に水道水を保管した場合、一般陶器に保管した水道水とは風味に差がある(保管時間12時間)。

2. 味の変化は保管時間によって異なる。

## e) 規格の引用

JISZ9080

## 5 試験方法

5.2.3 3点試験法

## 7 試験方法の詳細

7.1 一般

7.3 3点試験法

附属書4に基づく、3点試験法の拡張

## f) 適用規格からの逸脱点

用語はJISZ8144で規定されているが、コミュニケーション向上のため、必要な語彙においては独自の表現を使用した。

(例) JIS用語「におい」→「匂」など

## g) 試験監督者の氏名

平沼孝太(弊社センサリープロフェッショナル)

## h) 試験の日時

パネル選抜テスト(7/19)

本テスト(7/22、23、24)